#### 学校だより

# 六GOっ子

No. 1 6

令和 2 年 1 月 1 5 日 072) 校長 長谷川 洋

(館林市立第六小学校 TEL 72-4060 · FAX 72-4072)

## 楽しかった合同お楽しみ会

12月4日(水)、館林市文化会館小ホールにおいて、特別支援学校と市内小中学校特別支援学級の合同お楽しみ会が行われ、本校からも3,4,5組の児童が参加しました。出し物の時間になると、他の小学校と一緒に「パプリカ」を披露しました。練習の成果を十分に発揮し、切れのいいダンスを全員で披露し、大きな拍手が沸き起こりました。最後にサンタさんからプレゼントをいただき、とても楽しい一日を過ごしました。



【踊るパプリカ】

これらの費用は、地域の皆様の善意によって支えられてい

る館林市手をつなぐ育成会の募金からいただいています。また、ライオンズクラブやロータリー クラブのご支援もいただいています。ご協力ありがとうございます。

## 学校生活をよりよくするために~児童会本部役員の活動から~

児童会本部役員は5,6年生の各クラスから2名ずつ、合計8名で構成されています。毎日朝と20分休みに校舎内を回ってあいさつ運動を行い、よいクラスにカードを渡し、給食の時間に紹介しています。また、児童会新聞を発行し、あいさつの励行やいじめ防止を呼びかけたりしています。また、代表委員会の時間には、毎月の生活目標を決めるための話し合いを進めています。この他にも、運動会や持久走大会、感謝の集会等の司会・進行も務めてきました。

六小の学校生活が、児童のみなさんにとってよりよくなるために、これからもがんばってください。



【真剣な話し合い】

### 人権=人を大切にすること

六小では、10月末から「人権」に関する学習を推進してきました。10月23日(水)に第1回目の人権集会を行い、人権学習の意義について学びました。その後、各学級で人権に関するDVDを視聴したり、標語や作文、ポスターにも取り組んできました。

そして12月5日(木)第2回目の人権集会を行い、各学年の代表作品(作文、標語、ポスター)の紹介が行われました。 どの作品も素晴らしく、全校児童から大きな拍手が沸き起こりました。



【代表児童の発表】

最後に、「人権を尊重することは、人を大切にすること。自分を大切にし、周囲の人を大切に し、一人ぼっちのいない素晴らしい六小にしましょう。」という話をさせてもらいました。

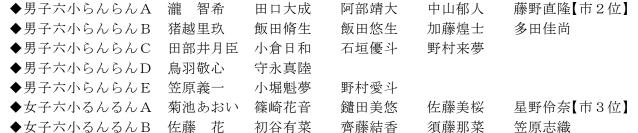
## 駅伝にチャレンジ

12月8日(日)たてばやし駅伝大会が城沼陸上競技場及びその周辺コースで行われました。本校からは男子5チーム、女子3チームが参加しました。一人2kmを走り、5人で襷をつなぎます。

参加者を募集し、自主的にやってみたいという児童が参加 しています。持久走大会が終わった後、放課後を使い練習を 重ねてきました。走り終わった後の児童の顔には、やり遂げ た満足感があふれていました。寒い中、応援してくださった保 護者のみなさま、ありがとうございました。

参加した児童は、以下の通りです。(敬称略)

◆女子六小るんるんC 山口愛美



タバ リサ 中村碧泉

## **けがの予防・手当てを知ろう**~学校保健委員会の開催~

12月5日(木)、学校医の星野先生、川島先生、学校歯科医の岩﨑先生、学校薬剤師の谷先生、PTA役員の方々をお招きして学校保健委員会を開催しました。今年度の児童健康診断結果を養護教諭が報告し、その後、「けがの予防・手当てを知ろう」というテーマで、保健委員会の児童が調べてまとめたことを発表しました。「六小でけがが増えているのはなぜか?」「どのような場所でけがが多いのか」「けがの種類と手当ての方法」等、細かい部分まで立派に発表することができました。保健委員のみなさん、ありがとうございました。



谷津薫子

【真剣に練習】

【発表の様子】

## 体験型万引き防止教室

12月13日(金)、3年生が館林警察署生活安全課スクールサポーターの齋藤さんを講師としてお招きし、「体験型万引き防止教室」を実施しました。

2人の男の子が本屋に行き、欲しい本があるが持っているお金が足りないという設定で、担任と齋藤さんによる役割演技が行われました。「たろうくん」に誘われて万引きをしてしまった「じろうくん」。結局は店の人に見つかり、警察からも指導を受けることになりました。

その後、3年生の児童が「じろうくん」役になり、どうすれば万引きを防げたかを役割演技しながら考えました。

「誘われても断る」「友達やめても万引きはしない」等の意見 が、子どもたちの中から出されました。



【役割演技】

授業の最後に齋藤さんから、「万引きは窃盗罪という犯罪であり、重い罪になる」という話を していただきました。齋藤さん、ありがとうございました。